

# 砂防 かごっま メール

発行：鹿児島県土木部砂防課

第37号 H28.8

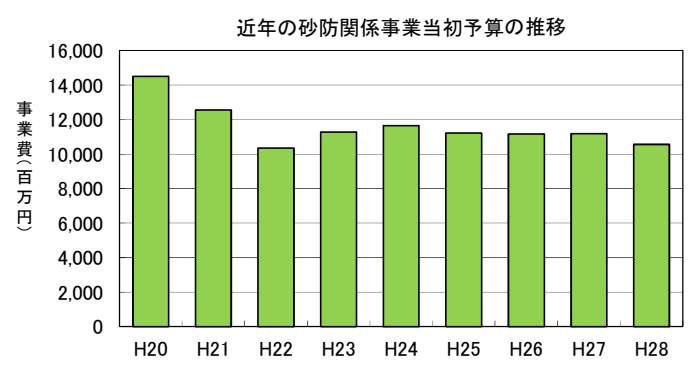


## 平成28年度砂防関係事業当初予算

県では、土砂災害から住民の生命・財産を守り、県土を保全し、安全で豊かな地域づくりを進めるため、土砂災害対策を推進しています。平成28年度は、平成22～25年の奄美地方における集中豪雨や梅雨前線豪雨、平成27年の梅雨前線豪雨などで被災した箇所の抜本的対策工事、災害時要配慮者利用施設や重要交通網を保全する土砂災害防止施設の整備、老朽化した土砂災害警戒避難体制を支援する防災情報の提供などのソフト対策を重点的に推進します。

	平成27年度	平成28年度	対前年度比
公共事業	10,572	9,800	0.93
砂防事業	6,040	5,481	0.91
急傾斜事業	2,773	2,523	0.91
地すべり事業	626	801	1.28
情報基盤	158	21	0.13
基礎調査	975	975	1.00
県単公共事業	621	774	1.25
砂防関係事業費	11,193	10,574	0.94

※ 災害関連事業費・砂防管理事業費は除きます



## 平成28年度地区土砂災害防止対策連絡調整会の開催

平成28年度地区土砂災害防止対策連絡調整会の実施状況

県では、土砂災害に係る警戒避難体制の整備促進を図るため、県内各地区で年1回以上、地区土砂災害防止対策連絡調整会を開催しています。

今年度も出水期を前に土砂災害の警戒避難に関する情報等を各所属間で共有するため、4月中旬～5月中旬にかけて、県内9地区で地区土砂災害防止対策連絡調整会を開催しました。

各市町村及び県出先機関の防災、砂防、治山、建築等業務担当課長のほか、保健福祉及び教育行政の担当課長もメンバーに加えて実施しました。

会では県内における近年の土砂災害や土砂災害警戒区域等の指定、土砂災害警戒情報について議論が交わされました。

開催日	県振興局など	参加市町村
4月18日(月)	大島支庁徳之島事務所	徳之島町、天城町、伊仙町
4月19日(火)	大島支庁沖永良部事務所	和泊町、知名町、与論町
4月22日(金)	大島支庁(徳之島・沖永良部事務所を除く)	奄美市、大和村、龍郷町、瀬戸内町、喜界町、宇検村
4月26日(火)	熊毛支庁	西之表市、中種子町、南種子町、屋久島町
5月10日(火)	大隅地域振興局	鹿屋市、垂水市、東串良町、錦江町、南大隅町、肝付町、曾於市、志布志市、大崎町
5月12日(木)	始良・伊佐地域振興局	霧島市、始良市、伊佐市、湧水町
5月16日(月)	南薩地域振興局	枕崎市、指宿市、南さつま市、南九州市
5月17日(火)	北薩地域振興局	薩摩川内市、さつま町、阿久根市、出水市、長島町
5月19日(木)	鹿児島地域振興局	鹿児島市、日置市、いち串木野市、三島村、十島村

## 平成28年度鹿児島県土砂災害対策アドバイザー会議

平成28年5月30日(月)に平成28年度第1回目の土砂災害対策アドバイザー会議を開催しました。

会議には県の土砂災害対策アドバイザーの委員として委託をしている4名の学識経験者にご出席いただき、近年の土砂災害箇所の復旧状況や桜島・霧島山への対応等について砂防課より説明を行い、復旧対策等について助言をいただきました。

【土砂災害対策アドバイザー】

下川 悦郎	鹿児島大学地域防災教育研究センター特任教授
北村 良介	鹿児島大学名誉教授
地頭 隆	鹿児島大学農学部教授
井村 隆介	鹿児島大学院理工学研究科地球環境科学専攻准教授
酒匂 一成	鹿児島大学大学院理工学研究科海洋土木工学専攻准教授



## 「土砂災害防止の集い2016」を開催しました

土砂災害による被害の防止・軽減を図るため、梅雨期を前に市町村長をはじめ、防災担当者及び一般県民の土砂災害に対する意識高揚をめざす取組のひとつとして、市町村社会基盤整備推進協議会と県の共催で「土砂災害防止の集い2016」を開催しました。

今年度は、基調講演の他に、垂水市と南さつま市において取り組まれた災害時の避難対策や今後の取組等についてご報告いただき、これからの防災を考える上での契機となりました。集いには、市町村長、市町村防災担当者及び建設技術者等の防災関係者など約330名が参加しました。

◎日 時 平成28年5月31日(火) 13時30分～16時00分

◎場 所 市町村自治会館

◎プログラム

■ 基調講演 その1

「火山観測による土砂災害予測」

井口 正人(京都大学防災研究所火山活動研究センター教授)

■ 基調講演 その2

「土砂災害から人の命を守る」

下川 悦郎(鹿児島大学地域防災教育研究センター特任教授)

■ 災害を振り返って～わがまちの防災対策～

・垂水市長 尾脇 雅弥 市長

・南さつま市長 本坊 輝雄 市長



会場の様子



井口教授の講演



下川教授の講演



尾脇垂水市長の講演



本坊南さつま市長の講演

## 地域防災リーダー養成講座

県では、防災に関する実践的知識と技術を有し、防災活動等の指導的役割を担う人材を鹿児島県地域防災リーダーとして育成するため「県地域防災リーダー養成講座」を年2回県防災研修センター(始良市)で開催しています。

7月24日(日)に開催された第1回目の講座では、県土木部砂防課の田村課長が近年の土砂災害発生状況やその対策について講義を行い、各地域公民館長や自主防災組織リーダーなど多数の方が出席し、熱心に聴き入っていました。



田村砂防課長による講義



熱心に聞き入る受講者

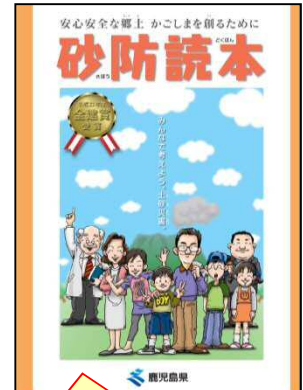
# 平成27年度防災教育の推進(実績)

土砂災害の防止には、砂防堰堤等の整備によるハード対策の他、地域住民が適切な判断・行動をとることが必要であり、小中学校等における土砂災害に対する防災教育を充実し、子供の頃から土砂災害に関する知識を涵養することが重要となります。

このため、県では過去の大災害等を経験したことにより得た教訓、土砂災害に関する知識等を後世・次世代に伝承し、災害時に迅速的確な避難行動がとれるよう、鹿児島を題材とした『砂防読本』を平成22年7月に作成しました。また各地域振興局において管内の小中学校を訪問し、『砂防読本』を活用した出前講座や現場見学会を開催しています。

砂防読本を活用した出前講座実施状況

実施日	振興局等	学校名等	学年	参加人数	現場見学会	
1	平成27年5月9日	大島	奄美市立崎原小中学校	全学年	14人	
2	平成27年6月9日	大島	奄美市立住用小中学校	全学年	37人	
3	平成27年6月10日	喜界	喜界町立喜界小学校	6年生	41人	
4	平成27年6月11日	大島	奄美市手花部小学校	全学年	8人	
5	平成27年6月13日	瀬戸内	宇検村立名柄小中学校 宇検村立阿室小中学校	全学年	30人	
6	平成27年6月13日	大島	龍郷町立大勝小学校	4~6年生	64人	
7	平成27年6月16日	大島	龍郷町立赤徳小学校	6年生	15人	
8	平成27年6月17日	大島	大和村立名音小学校	全学年	7人	
9	平成27年6月25日	大島	大和村立大和中学校	全学年	13人	
10	平成27年7月3日	大島	龍郷町立龍郷小学校	全学年	22人	
11	平成27年7月8日	徳之島	天城町立岡前小学校	5年生	37人	
12	平成27年7月29日	瀬戸内	瀬戸内町立古仁屋小学校	4~6年生	13人	○
13	平成27年9月16日	大島	奄美市立小湊小学校	全学年	11人	
14	平成27年10月16日	北薩	鹿児島大学工学部海洋土木工学科	3年生	50人	
15	平成27年10月22日	大島	大和村立大棚小学校	5,6年生	10人	
16	平成27年11月14日	北薩	薩摩川内市立水引小学校	4年生	21人	○
17	平成27年11月14日	砂防課	社会福祉法人若鮎会鈴かけ園	職員 利用者	18人	
18	平成28年1月29日	徳之島	徳之島町立亀徳小学校	5年生	25人	
19	平成28年2月13日	南薩	南九州市立大丸小学校 南九州市立勝目小学校	1~6年生 5,6年生	45人	○
20	平成28年2月16日	沖永良部	和泊町立国頭小学校	5年生	17人	
21	平成28年3月7日	屋久島	屋久島町立安房小学校	5年生	36人	
合計					534人	



『防災教育の推進(砂防読本の作成)』は、地域の防災力を高めるための取組が評価され、全日本建設技術協会から平成22年度「全建賞」の表彰を受けました。

## ○ 現場見学会の様子



現場見学会 [水引小学校] H27.11.14

## ○ 出前講座の様子



防災教育in瀬戸内 H27.7.29



土砂災害ジュニアマスター  
認定書



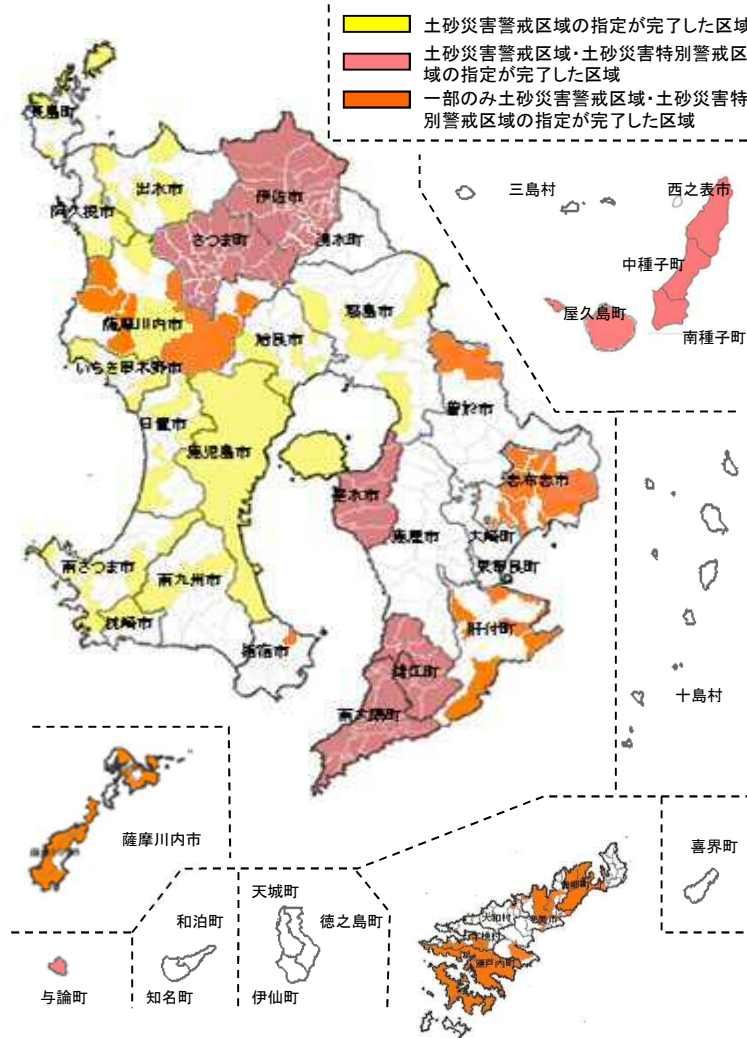
出前講座 [大勝小学校]  
(龍郷町) H27.6.13

出前講座終了後に、クイズ形式の検定などを行い、一人ひとりに「県土砂災害ジュニアマスター認定書」が贈られました。



出前講座 [田検小学校] (宇検村)  
H27.7.8

# 土砂災害警戒区域等の指定状況



## ●土砂災害警戒区域に指定されると

### 警戒避難体制の整備(8条)

土砂災害から生命及び身体を守るため、災害情報の伝達や避難が早くできるように警戒避難体制の整備が図られます。

## ●土砂災害特別警戒区域に指定されると

### 1 特定開発行為に対する許可制(10条)

住宅宅地分譲や、老人ホーム・病院などの災害時要援護者関連施設の建築を目的とした開発行為には許可が必要です。

### 2 建築物の構造規制(24条)

居室を有する建築物の構造が、想定される衝撃に対し安全かどうか、建築前に建築確認がされます。

### 3 建築物の移転及び支援措置(26条)

著しい損壊が生じる恐れのある建築物の所有者等に対し、移転等の勧告が図られ勧告による移転者には融資等の支援措置があります。

#### 【支援措置】

- ・住宅金融支援機構の融資
- ・がけ地近接等危険住宅移転事業による補助

## ●市町村の役割(警戒避難体制の整備)

- 1 市町村地域防災計画に、土砂災害を防止するために必要な警戒避難体制に関する事項について定める。(8条1項)
- 2 土砂災害に関する情報の要配慮者利用施設への伝達方法を定める。(8条2項)
- 3 ハザードマップ作成等の措置を講じる。(8条3項)

## ●県の役割(市町村の支援)

- 1 土砂災害警戒区域等を指定する。
- 2 基礎調査結果を公表する。
- 3 土砂災害警戒情報、雨量情報等を発信する。

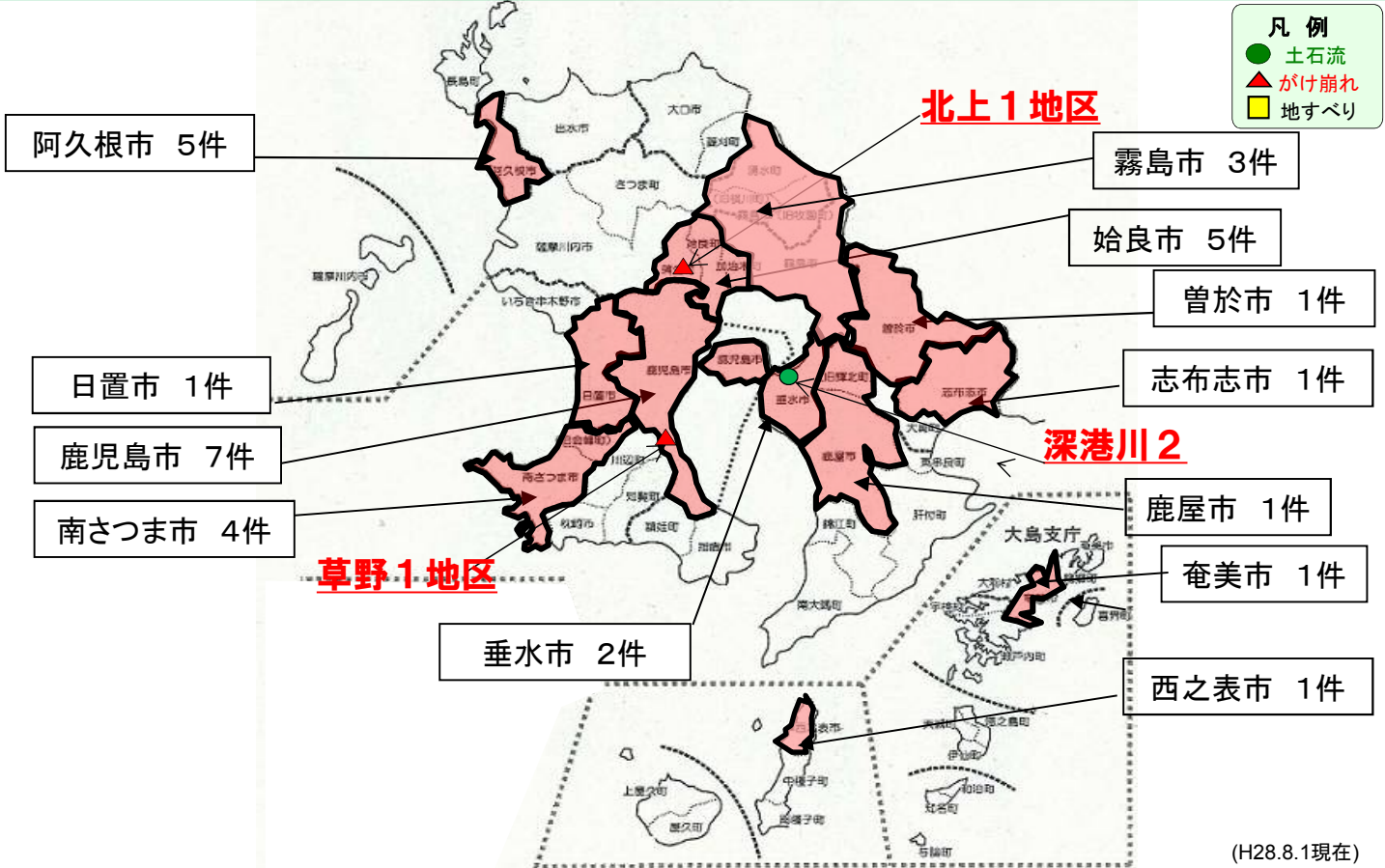
鹿児島県における土砂災害警戒区域等の指定状況(指定年度)

平成28年8月1日現在

市町村名	H16~20年度		H21年度		H22年度		H23年度		H24年度		H25年度		H26年度		H27年度		H28年度		合計		
	警戒区域	特別	警戒区域	うち特別	警戒区域	うち特別	警戒区域	うち特別	警戒区域	うち特別	警戒区域	うち特別	警戒区域	うち特別	警戒区域	うち特別	警戒区域	うち特別	警戒区域	うち特別	
日置市	480																			480	0
霧島市	787							9	9											796	9
いちき串木野市	243																			243	0
南さつま市	488							15	14											503	14
姶良市	306																			306	0
鹿児島市(完)	3,267																			3,267	0
枕崎市	140							6	6											146	6
阿久根市	399									11	6									410	6
出水市	330									2	2									332	2
薩摩川内市	619							18	11	429	387	290	265	262	239	402	362			2,020	1,264
南九州市	233							6	5											239	5
長島町	271																			271	0
垂水市(完)	351	289																		351	282
錦江町(完)	234	226	83	80																317	306
南大隅町(完)	279	253	197	173																476	423
さつま町(完)			400	378	400	372	609	558												1,409	1,308
伊佐市(完)			302	288	257	253	154	145												713	686
肝付町					72	69	84	71	139	133	89	84								384	357
西之表市							113	104			89	85								202	189
指宿市							13	8												68	57
屋久島町(完)							12	9					308	287			53	49		320	296
鹿屋市							16	14	8	8										24	22
曾於市							6	6	125	116	27	24	75	74	27	25				260	245
大崎町							1	1												1	1
志布志市							150	146	86	82	115	110	66	65	39	39				456	442
奄美市							121	114	72	63			80	76	344	306	9	8		626	567
瀬戸内町							4	2	59	39	50	45			59	57				172	143
徳之島町							4	4												4	4
中種子町(完)										65	58	13	13							78	71
天城町										6	5									6	5
宇検村										16	12			36	30					52	42
大和村												6	6	25	24	9	9			40	39
龍郷町												35	28	35	31	98	96			168	155
南種子町(完)												32	31	41	40	115	102			188	173
喜界町												2	2							2	2
与論町(完)																				56	56
<b>合計</b>	<b>8,427</b>	<b>768</b>	<b>982</b>	<b>919</b>	<b>729</b>	<b>694</b>	<b>1,341</b>	<b>1,217</b>	<b>1,018</b>	<b>911</b>	<b>748</b>	<b>693</b>	<b>930</b>	<b>866</b>	<b>1,202</b>	<b>1,101</b>	<b>9</b>	<b>8</b>	<b>15,386</b>	<b>7,177</b>	
<b>36市町村</b>	<b>15市町</b>	<b>3市町</b>	<b>4市町</b>	<b>4市町</b>	<b>3市町</b>	<b>3市町</b>	<b>18市町</b>	<b>18市町</b>	<b>12市町村</b>	<b>12市町村</b>	<b>11市町村</b>	<b>11市町村</b>	<b>10市町村</b>	<b>9市町村</b>	<b>10市町村</b>	<b>10市町村</b>	<b>1市町村</b>	<b>1市町村</b>	<b>36市町村</b>	<b>31市町村</b>	

# 平成28年6月～梅雨前線豪雨による土砂災害発生状況

本県は、県土の大半をシラス等の特殊土壌に覆われており、梅雨前線や台風による豪雨の影響で土砂災害が発生しやすい地域です。今年、奄美地方が5月16日から6月18日まで、九州南部では6月4日から7月18日までが梅雨期となりました。土砂災害として、30件のがけ崩れと、2件の土石流が発生し、住民や人家に被害が出ました。また梅雨期降水量が、鹿児島県での平年の2倍以上に達した地域がありました。近年の雨の降り方として、短時間で急に強く降るゲリラ豪雨が増えています。



**【鹿児島県土砂災害合計】**  
 土砂災害発生件数 32件(11市町村)  
 (土石流2件、がけ崩れ30件)

**【被災状況】**

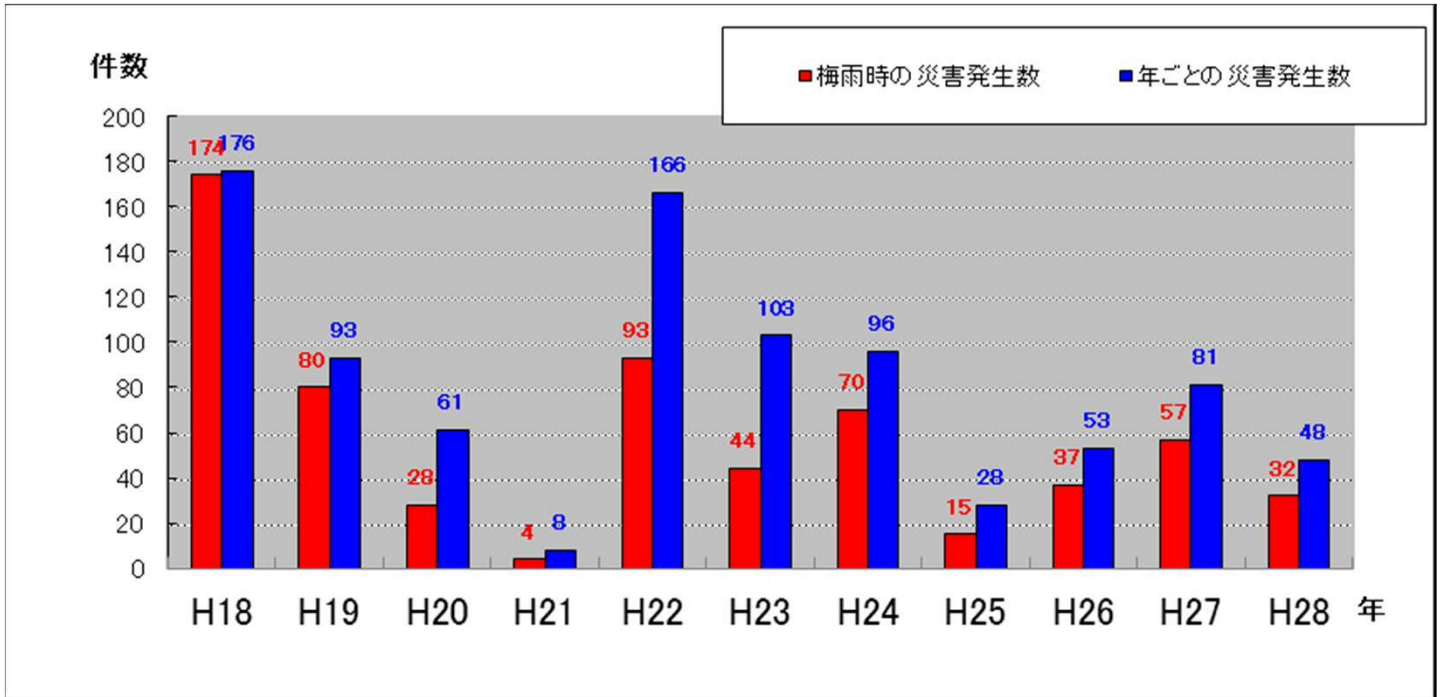
○人的被害	死者1名、負傷者4名
○家屋等被害	全壊2件 一部破損12件、 非住家被害7件

鹿児島市下福元(がけ崩れ)



平成28年6月29日に鹿児島市下福元町草野地内の急傾斜地崩壊危険箇所(草野1地区)において、がけ崩れが発生しました。このがけ崩れにより、**人的被害3名、工場が一部損壊する被害**がでました。

## 近年の土砂災害発生件数の比較（H28.8.1現在）



## 土砂災害の恐れのある災害時要配慮者利用施設に関する調査結果

鹿児島県（砂防課、保健福祉部、青少年男女共同参画課、学校施設課）は、土砂災害の恐れのある災害時要配慮者利用施設について、毎年見直しを行うこととしており、今回その調査結果がまとまりました。

県は、その結果を市町村へ通知するとともに、災害時要配慮者利用施設に係る土砂災害対策を県の重点施策と位置づけ、ハード・ソフト両面から積極的に推進していきます。

### 【調査結果】

平成28年3月31日時点

	所管別	施設数	土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域の中にある施設数	
			土砂災害危険箇所の中にある施設数	土砂災害警戒区域の中にある施設数
要配慮者利用施設※1	保健福祉部※2	(4,744) 6,351	(578) 601	(502) 545
	青少年男女共同参画課※3	(950) 915	(122) 114	(91) 92
	学校施設課※4	(102) 98	(22) 22	(19) 21
	合計	(5,796) 7,364※6	(722) 737	(612) 658

※1: 児童福祉施設、老人福祉施設、身体障害者更生援護施設、知的障害者援護施設、精神障害者社会復帰施設、医療提供施設、幼稚園など

※2: 医療施設、老人ホームなどであるが、うち1箇所は鹿児島市所管の救護施設を含む

※3: 私立幼稚園、保育所、児童館など

※4: 公立幼稚園、特別支援学校など

※5: 上段括弧書きは、平成27年3月31日時点

※6: 施設数については各課への調査結果による。

# H28第11回土砂災害・全国統一防災訓練の実施

6月の土砂災害防止月間の取り組みとして、平成28年6月5日(日)に地域住民や市町村、県、国、防災機関等が参加して「第11回土砂災害・全国統一防災訓練」を実施しました。

これは土砂災害に対する警戒避難体制の強化や防災意識の向上を目的として平成18年度から実施しているもので、県や市町村、消防団、地域住民の方々など県内約1100名が参加し、土砂災害を想定した実動避難訓練や県・市町村の防災業務担当者間における情報伝達訓練を実施しました。

参加市町村数 17市16町3村 計36市町村(※2市4町1村は別日程で実施予定)



【薩摩川内市】  
高齢者を対象にした避難訓練



【曾於市】  
要配慮者の救出訓練



【霧島市】  
災害伝言ダイヤル体験



【志布志市】  
防災講習会の炊き出し体験



【始良市】  
ハザードマップを使用した図上訓練



【長島町】  
避難訓練の様子

## 土砂災害防止月間・街頭PR活動

平成28年6月1日に鹿児島市の中町アーケード内(山形屋前)で土砂災害防止月間の広報活動の一環として、街頭PRを行いました。

この街頭PRに国土交通省大隅河川国道事務所、鹿児島市、鹿児島県町村会及びNPO法人鹿児島砂防ボランティア協会のご協力をいただき、通行中の県民の方々に土砂災害防止啓発チラシの配布と説明を行いました。



実施日時: 平成28年6月1日(水) 10:30~11:30  
 実施場所: 鹿児島市、中町アーケード内(山形屋前)  
 配布枚数: 1,500枚  
 参加人数: 31人



# 土砂災害防止に係る作文・絵画を募集しています

土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害の体験や様子、土砂災害のおそろしさを訴えるもの、砂防施設を見学したときに見たこと、感じたこと、考えたことを題材にした絵画や作文を募集しています。

応募していただいた方には、応募記念品を用意しております他、絵画、作文の小、中学生部門毎に、最優秀賞1作品、優秀賞2作品を予定しておりますので、たくさんのご応募をお待ちしております。

## 作文・絵画・ポスター募集のチラシ

**平成28年度土砂災害防止についての絵画・作文を募集します**

土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害のようすや砂防しせつ（砂防えん堤など）を見学したときに見たこと、感じたこと、考えたことをドンドン送ってください。

**応募について**

内容・大きさ	絵画のかき方、大きさは自由。作文は400字詰め原稿用紙で小学生低学年は2枚程度、高学年は4枚程度、中学生は5枚程度。どちらも未発表のものに限ります。
応募期間	6月1日～9月15日まで
送り先	あなたの住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学年を記入し、都道府県庁砂防主管課「土砂災害防止に関する絵画・作文募集」担当あて
賞	最優秀賞 / 優秀賞 / 発表 / 平成29年2月中旬
表彰	平成29年3月中旬に国土交通省又は各都道府県において行います。平成27年度の入賞作品は国土交通省砂防部Webサイトをご覧ください。 <a href="http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sabo/kaiga_h27.html">http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sabo/kaiga_h27.html</a>

## 作文・絵画の応募について

### 応募テーマ

土砂災害の体験や様子、土砂災害のおそろしさを訴えるもの、砂防施設を見学したときに見たこと、感じたこと、考えたことなど

### 応募資格

絵画・版画、ポスター、作文ともに小・中学生

- ※応募者の学校名、学年、氏名を明記してください
- ※応募作品は未発表のものに限ります

### 応募内容

- 土砂災害またはその防止対策に関係するもの
- ・絵画：作品の種類、サイズは自由
  - ・作文：400字詰め原稿用紙で小学校1～3年生は2枚程度、4～6年生は4枚程度、中学生は5枚程度

### 応募期間

平成28年6月1日～平成28年9月15日まで

### 送り先・問い合わせ先

鹿児島県庁砂防課工事事務係  
住所：〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1  
電話番号：099-286-3614  
FAX番号：099-286-5627

## 平成27年度受賞作品について

平成27年度は、県知事表彰に加え、絵画(小学生の部)2作品、作文(小学生の部)1作品、作文(中学生の部)1作品が国土交通事務次官賞を受賞しています。

平成27年度受賞した絵画・作文については、下記HPをご覧ください。  
<https://www.pref.kagoshima.jp/ah08/infra/kasen-sabo/sabo/gekkan.html>

平成27年度募集土砂災害に関する絵画(小学生の部)国土交通事務次官賞



奄美市立朝日小学校  
4年 松山 佳真



奄美市立朝日小学校  
6年 松山 航大